鳥羽 咲音（チェロ）

Sakura Toba, Cello

2005年、音楽家の両親のもと、ウィーンで生まれる。

６歳から毛利伯郎氏に師事し、アントニオ・メネセスやダーヴィド・ゲリンガス各氏のマスタークラスにも参加。数多くのコンクールで優勝、入賞を果たし、2019年「服部真二音楽賞」受賞。東京・春・音楽祭やプラハ・ドヴォルザーク音楽祭でのソロ公演ほか、原田幸一郎、大友直人、広上淳一、沼尻竜典、服部譲二、山田和樹、角田鋼亮らの指揮で、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、広島交響楽団、ウィーン室内管弦楽団などと共演。

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを経て、2022年からベルリン芸術大学でイェンス＝ペーター・マインツ氏に師事。使用楽器はアンネ＝ゾフィー・ムター財団より貸与された1840年製のジャン＝バティスト・ヴィヨーム。Mutter's Virtuosiのメンバーとしてツアーに参加するほか、室内楽でもムターと共演している。

公益財団法人江副記念リクルート財団第50回（2021年）奨学生および、公益財団法人ロームミュージックファンデーション2021、2022年度奨学生。